

表紙絵の解説

題名：団子が食べたいね〜 作者：黒川 英一

- 1、背景は、コロジオン原紙を描き液で製版して、濃紺で刷る。
- 2、同版を洗浄。月と人と猫を残して他を糊で伏せ、裏に典具帖を2枚敷いて薄い白で刷る。*ぼかしを表現*間紙
- 3、同版を洗浄。裏に典具帖を1枚敷いて上記よりやや濃い白で刷る。*間紙
- 4、同版を洗浄。月を上記より濃い白で刷る。
- 5、同版を洗浄。月のクレータを残して糊で伏せ、白で刷る。
- 6、同版を洗浄。人と猫は、裏に典具帖を1枚敷いて薄い黒で刷る。
- 7、同版を洗浄。人と猫を一回り小さく糊で伏せて、上記より濃い黒で刷る。
- 8、新規のコロジオン原紙に月と雲と床をヤスリ（アート）で製版して、裏に典具帖を1枚敷いて薄い白で刷る。*間紙
- 9、同版を洗浄。月を糊で伏せて、雲と床のハイライトを再度同色で刷る。
- 10、新規のコロジオン原紙にススキと床と人と猫を鉄筆で製版して、白で刷る。
- 11、新規のコロジオン原紙に人と猫のぼかしをさらに製版して薄い白で刷る。
- 12、新規のコロジオン原紙に障子を製版して薄い白で刷る。
- 13、同版を洗浄。障子の格子以外を糊で伏せて7.より濃い黒で刷る。

10月号の表紙絵は
高橋さんです

9月の研究会 予定

日時：9月13日(日) 会場：新富区民館

◆午前の部（10：00～12：00）

- 1、8・9月表紙絵の制作プロセス解説（指導：黒川（英）
初挑戦したぼんやり感と透かしの失敗談を解説します。

◆午後の部（13：00～16：00）

1. 一筆箋（指導：横山）
日常生活にある用具を孔版器材を利用して制作します。
・持参品/印刷器一式、紙ヤスリ（＃120～180から1種、＃320～400から1種）、ステンレス金網（不用なザルなど）、バチ型鉄筆又はマイナスドライバー、250番鉄筆又はボールペン、スプーン型鉄筆又はスプーン・バターナイフ、セロハン紙、朱肉（100均の小型で可）

2. 第30回孔版画展について

内容を決定します。多数の参加をお願いいたします。

10月の
講習担当は
末廣さんです

7月の研究会 報告

◆午前の部（10：00～12：00）

1.6月表紙絵の制作プロセス解説（指導：黒川（晶）

本人は事情があり欠席でしたが、制作ファイルを預かり、各人回覧で鑑賞しました。黒川さんはプリントゴッコでの制作のようです。色彩は落ち着いた色調の作品が特徴です。



黒川（晶）さんのファイル

2.7月表紙絵の制作プロセス解説（指導：坂本）

実はこの作品、家の改装の事情があって5月に制作したもの。時間が経過しているために制作手順が良く覚えていないと言いつつも、皆に解る説明をして頂きました。作品は写真を基に縮小して、太陽の位置が下過ぎるので、少し上に変えて制作しました。



右は縮小して太陽の位置を上配置した



◆午後の部（12：30～16：00）

1.コロジオン版画 - 白抜き - （指導：伊藤）

遠路名古屋から指導に来て頂いた伊藤さん。優しい口調で丁寧に制作手順を実演しながら解説して頂きました。その後、実習では解らない所はさらに指導して頂きました。
*制作手順は次のページ。



2. 第30回孔版画展について

30周年という節目に何を企画し何を展示するかを話し合いました。9月に内容を決定します。アイデアを考えて多くの参加をお願いいたします。

